

**大分市国際化推進計画策定に係る
市 民 意 識 調 査**

留学生アンケート

1 ご自身のことについておたずねします。

問1・問2 回答者の性別、年齢

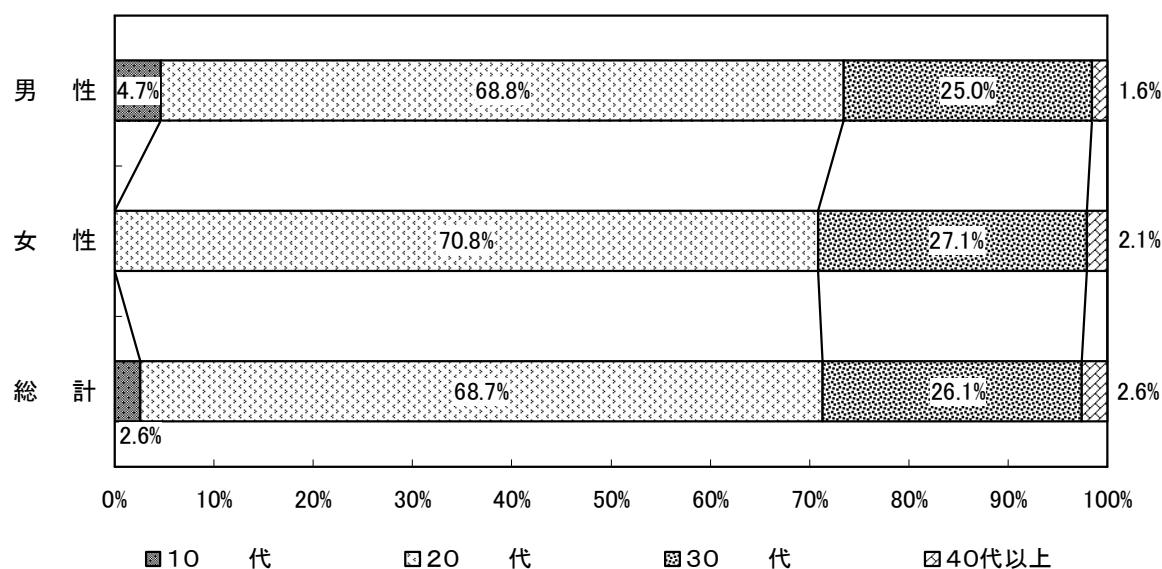
留学生の年齢は、20代が最も多く、全体の68.7%となっている。次に多いのは30代で、26.1%である。10代、40代は、ともに2.6%とごく少数派となっている。

また、男女別にみると、男性が64人(55.7%)、女性が48人(41.7%)と、男性のほうが女性の数を上回っている。

表1-1 回答者の年齢・性別

	男性	女性	無回答	総計
10代	3 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.6%
20代	44 68.8%	34 70.8%	1 33.3%	79 68.7%
30代	16 25.0%	13 27.1%	1 33.3%	30 26.1%
40代以上	1 1.6%	1 2.1%	1 33.3%	3 2.6%
年齢不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総計	64 100.0%	48 100.0%	3 100.0%	115 100.0%

図1-1 回答者の年齢・性別



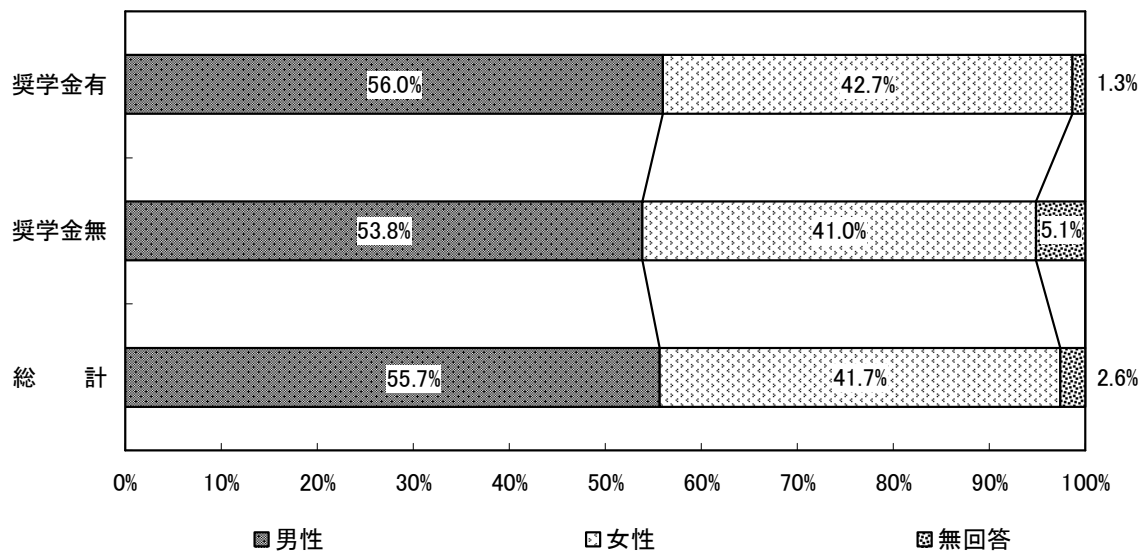
問 1 回答者の性別(奨学金 有・無)

奨学金をもらっているか、否かについて、男女比をみると、奨学金をもらっている人の男女比が、男性 56.0%、女性 42.7%であるのに対し、奨学金をもらっていない人は、男性 53.8%、女性 41.0%となっており、男女比は、奨学金の有無にはあまり関係していない。

表 1-1-1 回答者の性別(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
男 性	42 56.0%	21 53.8%	64 55.7%
女 性	32 42.7%	16 41.0%	48 41.7%
無 回 答	1 1.3%	2 5.1%	3 2.6%
総 計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 1-1-1 回答者の性別(奨学金有・無)



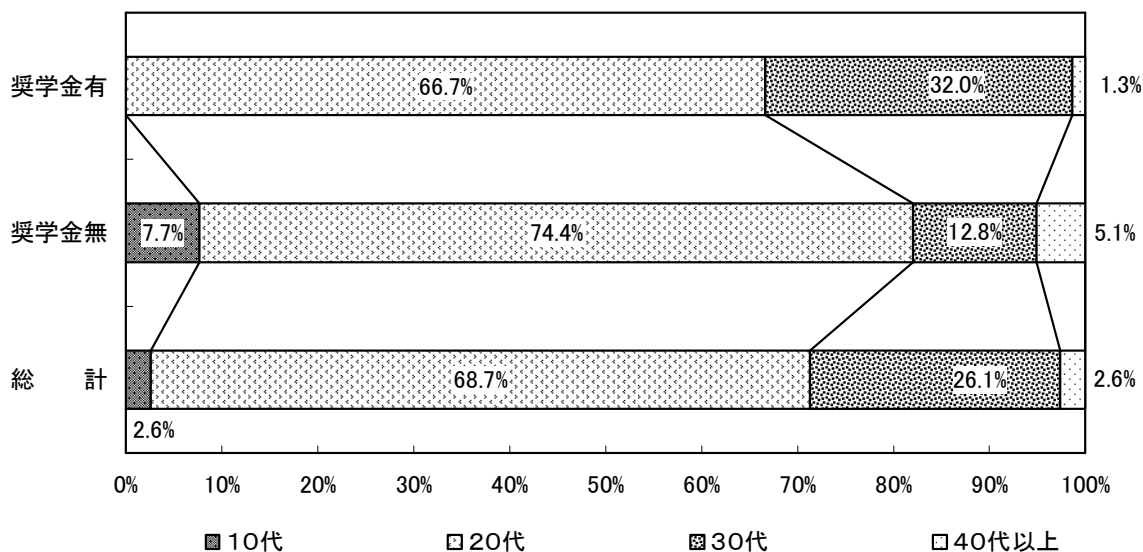
問2 回答者の年齢(奨学金有・無)

回答者の年齢を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人のほうが若干年齢層が高く、奨学金をもらっている人の場合、30代が約3割いるが、奨学金をもらっていない人では、30代は1割強にとどまった。

表1-1-2 回答者の年齢(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
10代	0 0.0%	3 7.7%	3 2.6%
20代	50 66.7%	29 74.4%	79 68.7%
30代	24 32.0%	5 12.8%	30 26.1%
40代以上	1 1.3%	2 5.1%	3 2.6%
年齢不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図1-1-2 回答者の年齢(奨学金有・無)



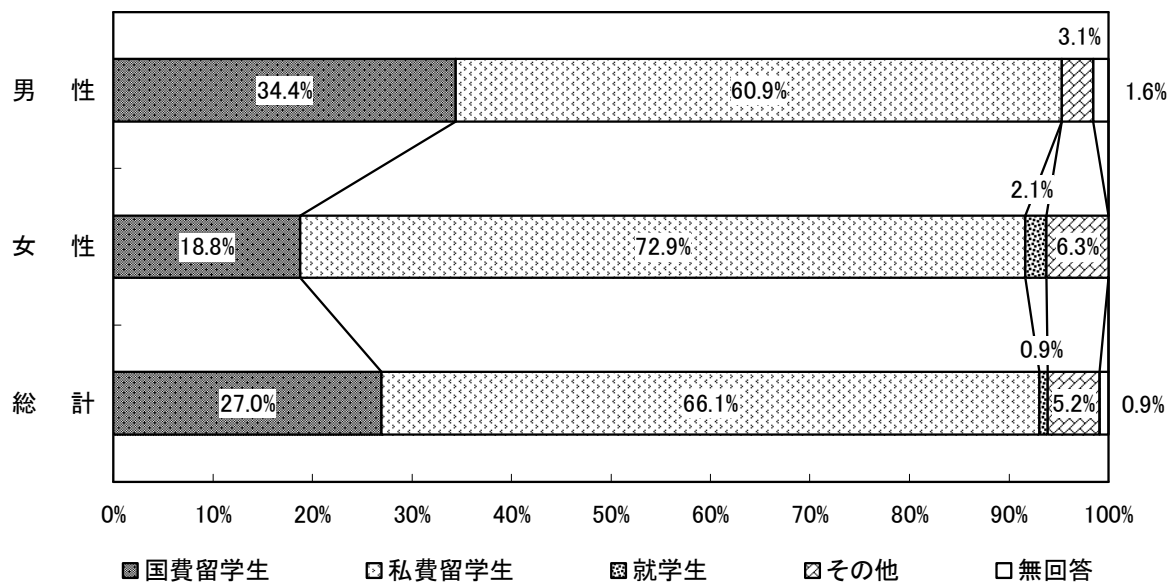
問3 留学生の種類

留学生の種類をみると、私費留学生が66.1%と最も多く、次に国費留学生の27.0%となっている。就学生は0.9%とごく少数派となっている。

表1-2 留学生の種類

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
国 費 留 学 生	22 34.4%	9 18.8%	31 27.0%
私 費 留 学 生	39 60.9%	35 72.9%	76 66.1%
就 学 生	0 0.0%	1 2.1%	1 0.9%
そ の 他	2 3.1%	3 6.3%	6 5.2%
無 回 答	1 1.6%	0 0.0%	1 0.9%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図1-2 留学生の種類



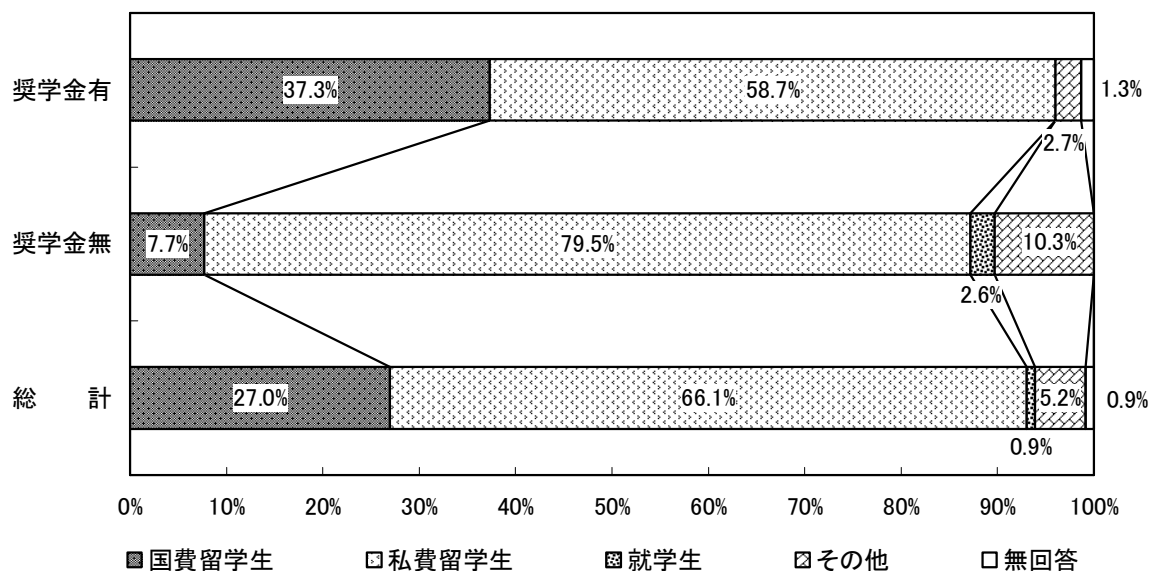
問3 留学生の種類(奨学金有・無)

留学生の種類を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人の場合、37.3%が国費留学生であるのに対し、奨学金をもらっていない人は、国費留学生が7.7%にとどまっている。私費留学生は、奨学金をもらっている人は58.7%、もらっていない人は79.5%となっている。

表1-2 留学生の種類(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
国費留学生	28 37.3%	3 7.7%	31 27.0%
私費留学生	44 58.7%	31 79.5%	76 66.1%
就学生	0 0.0%	1 2.6%	1 0.9%
その他	2 2.7%	4 10.3%	6 5.2%
無回答	1 1.3%	0 0.0%	1 0.9%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図1-2 留学生の種類(奨学金有・無)



問 4 留学生の専攻科目

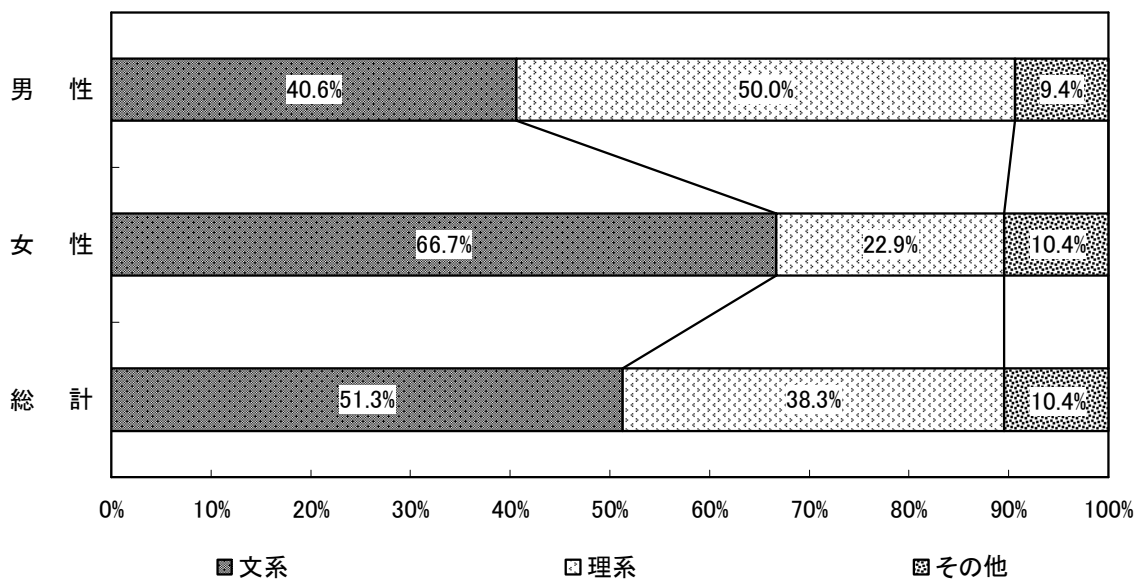
留学生の専攻をみると、男性は理系が最も多く 50.0%を占めており、次に文系の 40.6%の順となっている。

女性は、文系が 66.7%と最も多く、理系は 22.9%となっている。

表 1 - 3 留学生の専攻科目

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
文 系	26 40.6%	32 66.7%	59 51.3%
理 系	32 50.0%	11 22.9%	44 38.3%
そ の 他	6 9.4%	5 10.4%	12 10.4%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図 1 - 3 留学生の専攻科目



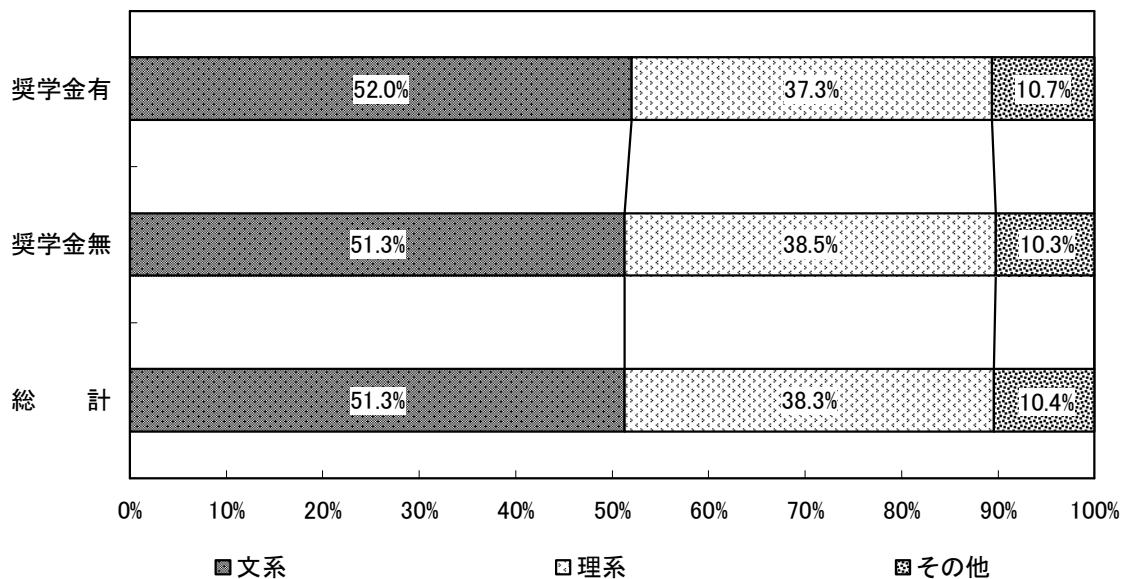
問 4 留学生の専攻科目(奨学金 有・無)

留学生の専攻科目を奨学金の有無別にみると、奨学金の有無に関わらず、文系は5割強、理系は4割弱となっており、専攻科目については、奨学金の有無は関係していないことがわかる。

表 1 - 3 留学生の専攻科目 (奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
文系	39 52.0%	20 51.3%	59 51.3%
理系	28 37.3%	15 38.5%	44 38.3%
その他	8 10.7%	4 10.3%	12 10.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 1 - 3 留学生の専攻科目 (奨学金有・無)



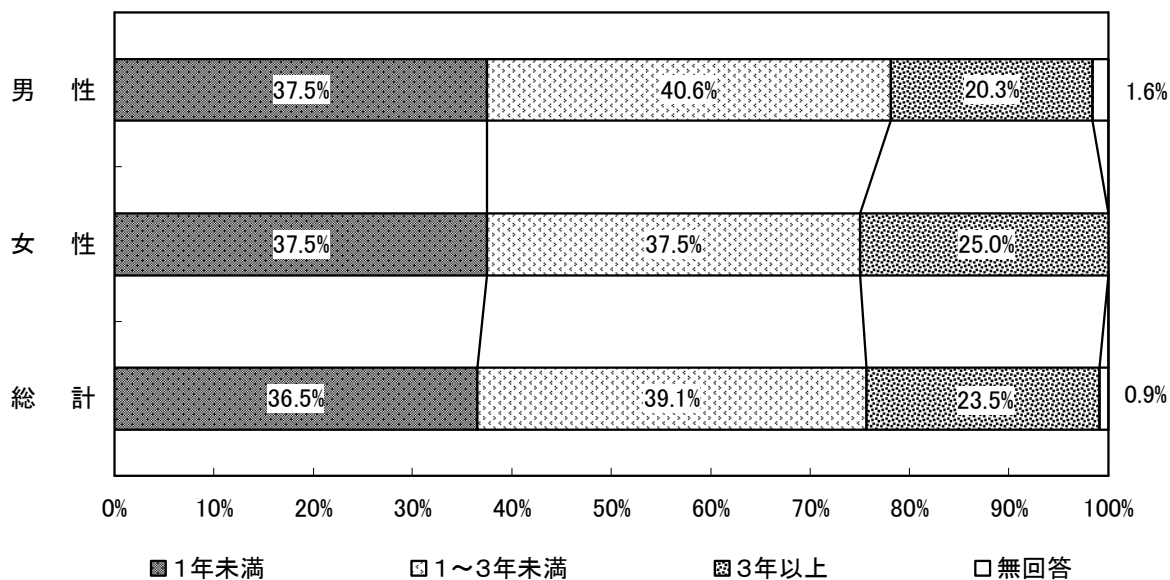
問5 大分市内の居住年数

留学生の大分市の居住年数は、1～3年未満の人が1年未満の人よりもわずかに多く、全体で39.1%、男性が40.6%、女性が37.5%となっている。3年以上居住している人は、全体の23.5%を占めている。

表1-4 大分市内の居住年数

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
1 年 未 満	24 37.5%	18 37.5%	42 36.5%
1 ～ 3 年 未 満	26 40.6%	18 37.5%	45 39.1%
3 年 以 上	13 20.3%	12 25.0%	27 23.5%
無 回 答	1 1.6%	0 0.0%	1 0.9%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図1-4 大分市内の居住年数



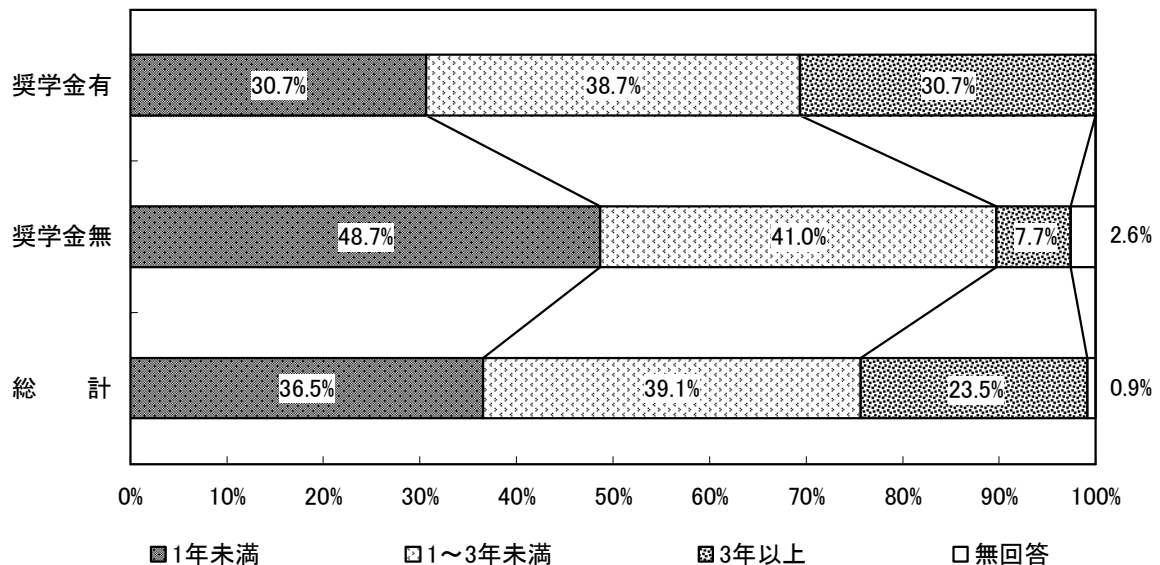
問5 大分市内の居住年数(奨学金有・無)

大分市内の居住年数を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人は「1～3年未満」が最も多くなっているのに対し、奨学金をもらっていない人は「1年未満」が5割弱を占め最も多くなっている。また、奨学金をもらっている人は「3年以上」の人も約3割いるが、奨学金をもらっていない人で「3年以上」居住している人は1割を下回った。

表1-4 大分市内の居住年数(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
1年未満	23 30.7%	19 48.7%	42 36.5%
1～3年未満	29 38.7%	16 41.0%	45 39.1%
3年以上	23 30.7%	3 7.7%	27 23.5%
無回答	0 0.0%	1 2.6%	1 0.9%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図1-4 大分市内の居住年数(奨学金有・無)



2 留学の基本的な実態についておたずねします。

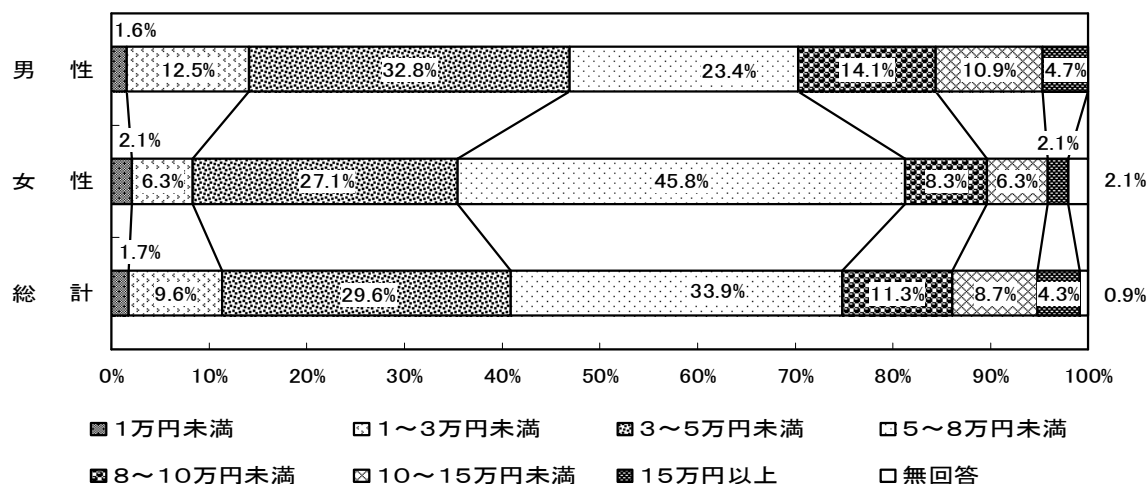
問6 1ヶ月の生活費（授業料を除く）

授業料を除く1ヶ月の生活費は、5～8万円未満の人が最も多く、全体の33.9%となっている。また、男女別で見ると、男性は、3～5万円未満の人が32.8%で最も多くなっており、女性は5～8万円未満の人が45.8%でトップとなっており、男女で多少数字に開きがでている。

表2-1 1ヶ月の生活費（授業料を除く）

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
1 万 円 未 満	1 1.6%	1 2.1%	2 1.7%
1 ～ 3 万 円 未 満	8 12.5%	3 6.3%	11 9.6%
3 ～ 5 万 円 未 満	21 32.8%	13 27.1%	34 29.6%
5 ～ 8 万 円 未 満	15 23.4%	22 45.8%	39 33.9%
8 ～ 10 万 円 未 満	9 14.1%	4 8.3%	13 11.3%
10 ～ 15 万 円 未 満	7 10.9%	3 6.3%	10 8.7%
15 万 円 以 上	3 4.7%	1 2.1%	5 4.3%
無 回 答	0 0.0%	1 2.1%	1 0.9%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図2-1 1ヶ月の生活費（授業料を除く）



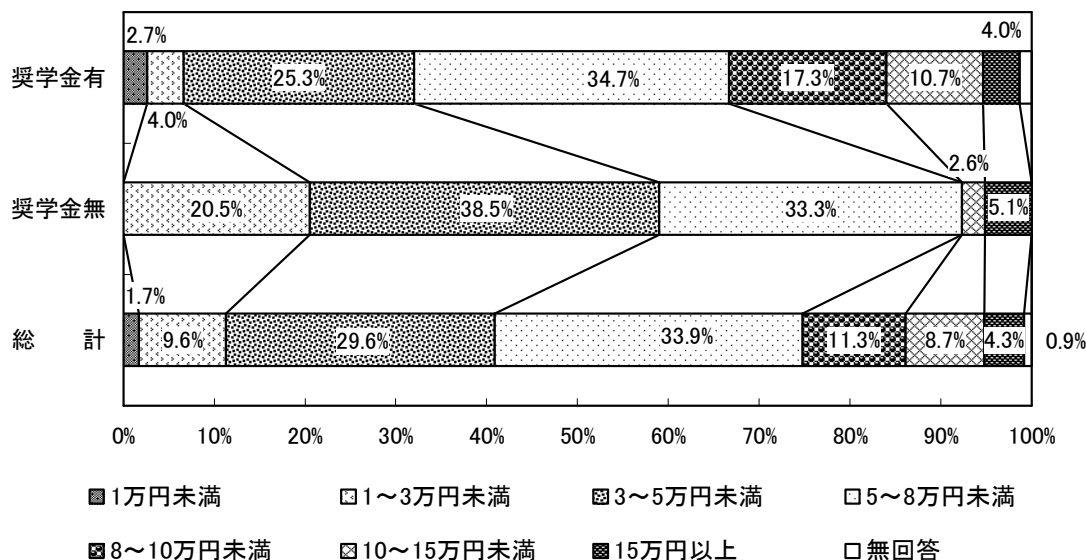
問6 1ヶ月の生活費（授業料を除く）（奨学金有・無）

1ヶ月の生活費を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人は、「5～8万円未満」の人が最も多く全体の約3分の1を占めている。一方、奨学金をもらっていない人は「3～5万円」と答えた人が最も多く38.5%であったが、「5～8万円」の人も33.3%いた。

表2-1 1ヶ月の生活費（授業料を除く）（奨学金有・無）

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
1万円未満	2 2.7%	0 0.0%	2 1.7%
1～3万円未満	3 4.0%	8 20.5%	11 9.6%
3～5万円未満	19 25.3%	15 38.5%	34 29.6%
5～8万円未満	26 34.7%	13 33.3%	39 33.9%
8～10万円未満	13 17.3%	0 0.0%	13 11.3%
10～15万円未満	8 10.7%	1 2.6%	10 8.7%
15万円以上	3 4.0%	2 5.1%	5 4.3%
無回答	1 1.3%	0 0.0%	1 0.9%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図2-1 1ヶ月の生活費（授業料を除く）（奨学金有・無）



問7 奨学金や住宅助成金などの有無

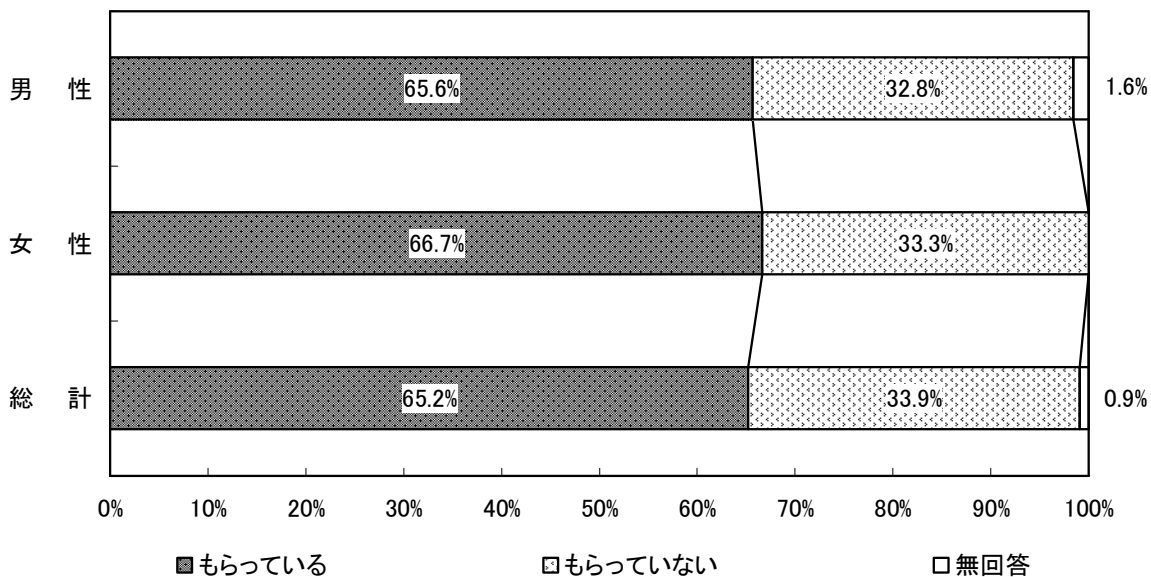
奨学金をもらっている留学生は、65.2%となっており、もらっていない人の33.9%を上回っている。

これは、男女について、あまり差がなく、男女ともに奨学金をもらっている人が3分の2を占めている。

表2-2 奨学金や住宅助成金などの有無

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
もらっている	42 65.6%	32 66.7%	75 65.2%
もらっていない	21 32.8%	16 33.3%	39 33.9%
無 回 答	1 1.6%	0 0.0%	1 0.9%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図2-2 奨学金や住宅助成金などの有無



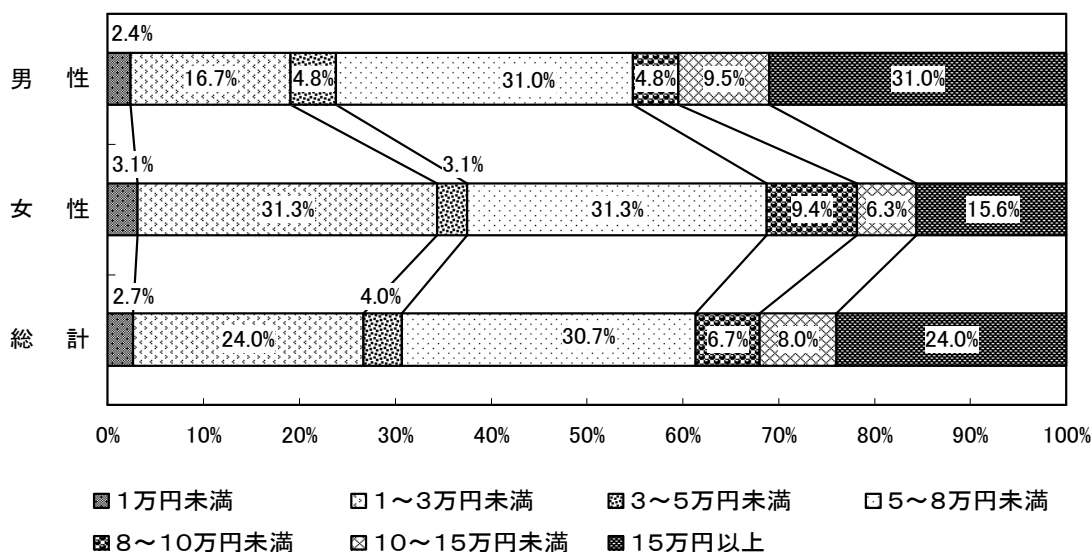
問 8 1ヶ月の奨学金や住宅助成金の額（問7でもらっていると答えた方）

留学生の1ヶ月あたりの奨学金や住宅助成金の額は、「5～8万円」が最も多く、30.7%となっている。次に多いのが「1～3万円」および「15万円以上」の24.0%となっている。男女別にみると、男性は、「5～8万円」および「15万円以上」がともに31.0%で最も多くなっている。一方女性は、「5～8万円」および「1～3万円」が31.3%で最も多くなっている。

表 2-3 1ヶ月の奨学金や住宅助成金の額

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
1 万 円 未 満	1 2.4%	1 3.1%	2 2.7%
1 ～ 3 万 円 未 満	7 16.7%	10 31.3%	18 24.0%
3 ～ 5 万 円 未 満	2 4.8%	1 3.1%	3 4.0%
5 ～ 8 万 円 未 満	13 31.0%	10 31.3%	23 30.7%
8 ～ 10 万 円 未 満	2 4.8%	3 9.4%	5 6.7%
10 ～ 15 万 円 未 満	4 9.5%	2 6.3%	6 8.0%
15 万 円 以 上	13 31.0%	5 15.6%	18 24.0%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	42 100.0%	32 100.0%	75 100.0%

図 2-3 1ヶ月の奨学金や住宅助成金の額



問9 アルバイト経験の有無

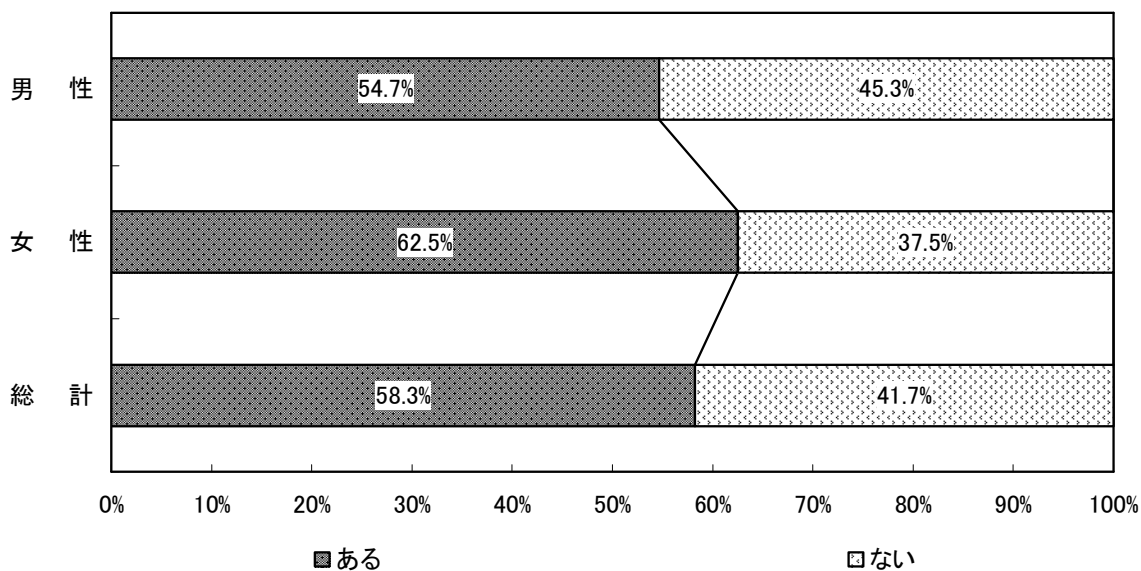
アルバイトをしたことのある留学生の割合は、58.3%となっており、「ない」と答えた人をわずかに上回った。

男女別にみると、アルバイトをしたことのある留学生は、女性で62.5%、男性で54.7%となっており、女性のほうが経験のある人が多い。

表2-4 アルバイト経験の有無

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
あ る	35 54.7%	30 62.5%	67 58.3%
な い	29 45.3%	18 37.5%	48 41.7%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図2-4 アルバイト経験の有無



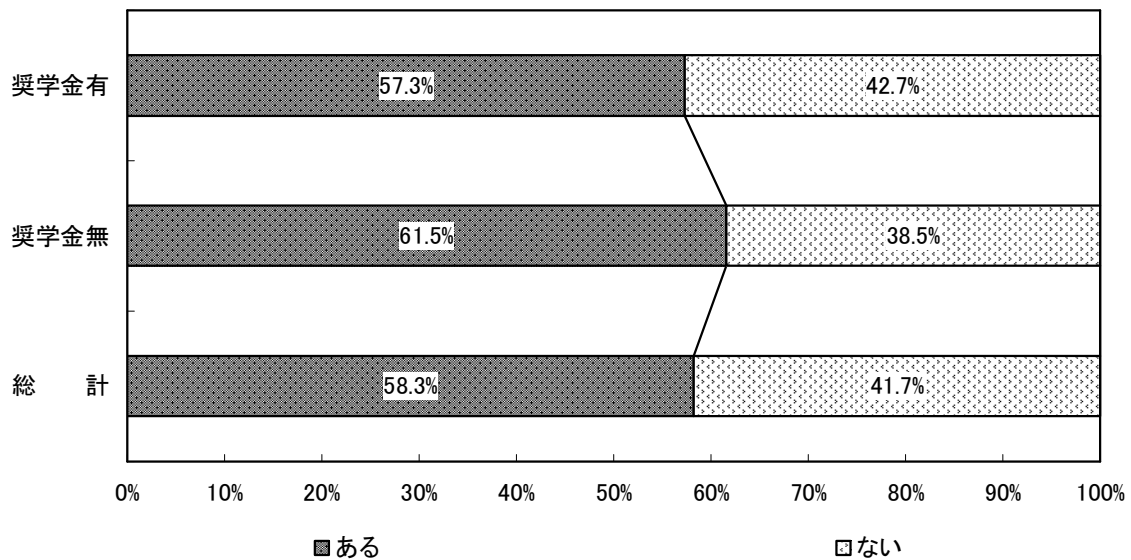
問9 アルバイト経験の有無(奨学金 有・無)

アルバイト経験の有無を奨学金の有無別にみると、アルバイト経験のある人は、奨学金をもらっている人の場合 57.3%、もらっていない人は 61.5%と奨学金をもらっていない人が奨学金をもらっている人をわずかに上回った。

表2-4 アルバイト経験の有無(奨学金 有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
あ る	43 57.3%	24 61.5%	67 58.3%
な い	32 42.7%	15 38.5%	48 41.7%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図2-4 アルバイト経験の有無(奨学金 有・無)



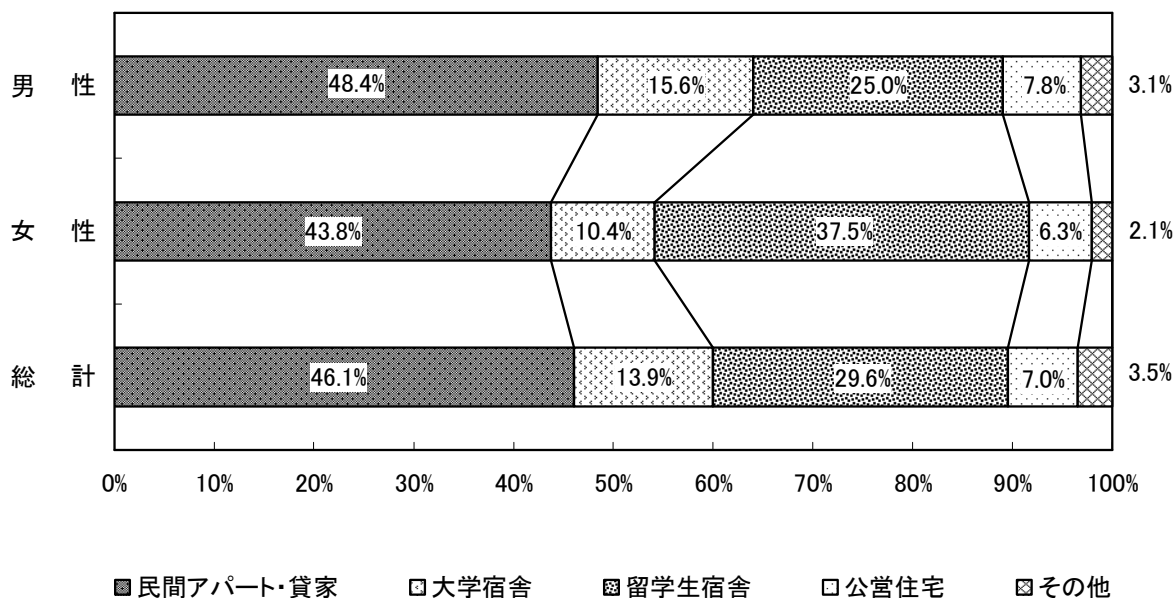
問 10 住宅の種類

留学生が現在住んでいる住宅の種類をみると、「民間アパート・貸家」が最も多く、46.1%となっている。次に多いのが「留学生宿舎」で 29.6%となっている。男女別にみても同様の傾向を示している。

表 2-5 住宅の種類

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
民間アパート・貸家	31 48.4%	21 43.8%	53 46.1%
大学宿舎	10 15.6%	5 10.4%	16 13.9%
留学生宿舎	16 25.0%	18 37.5%	34 29.6%
公営住宅	5 7.8%	3 6.3%	8 7.0%
ホームステイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2 3.1%	1 2.1%	4 3.5%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図 2-5 住宅の種類



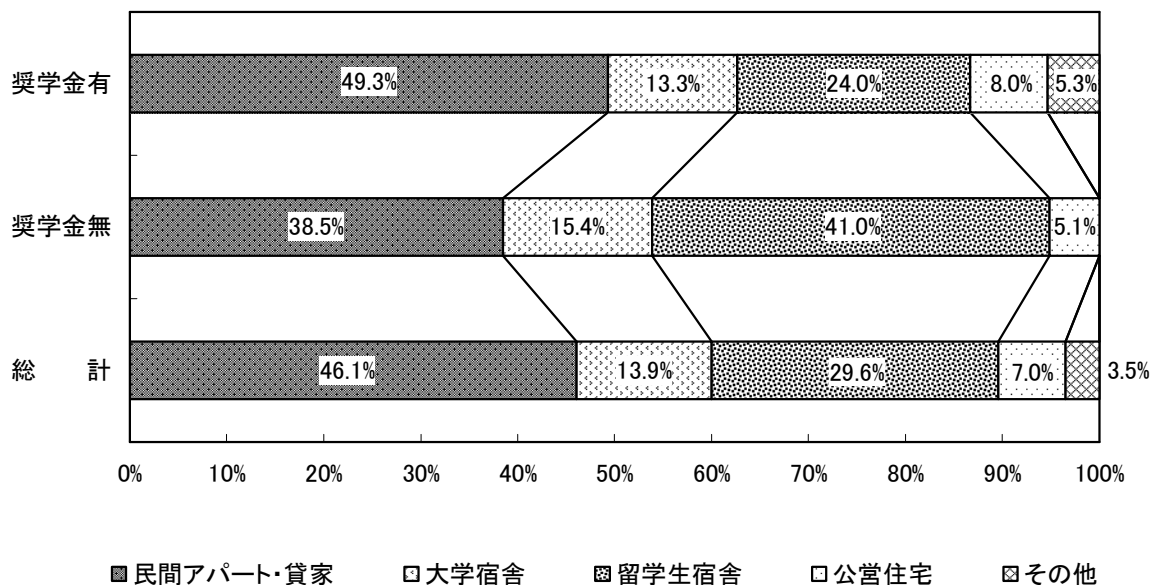
問 10 住宅の種類(奨学金 有・無)

住宅の種類を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人の約半数が「民間アパート・貸家」に住んでいるのに対し、奨学金をもらっていない人は「留学生宿舎」に住んでいる人が最も多く約4割を占める。

表 2-5 住宅の種類 (奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
民間アパート・貸家	37 49.3%	15 38.5%	53 46.1%
大学宿舎	10 13.3%	6 15.4%	16 13.9%
留学生宿舎	18 24.0%	16 41.0%	34 29.6%
公営住宅	6 8.0%	2 5.1%	8 7.0%
ホームステイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 5.3%	0 0.0%	4 3.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 2-5 住宅の種類 (奨学金有・無)



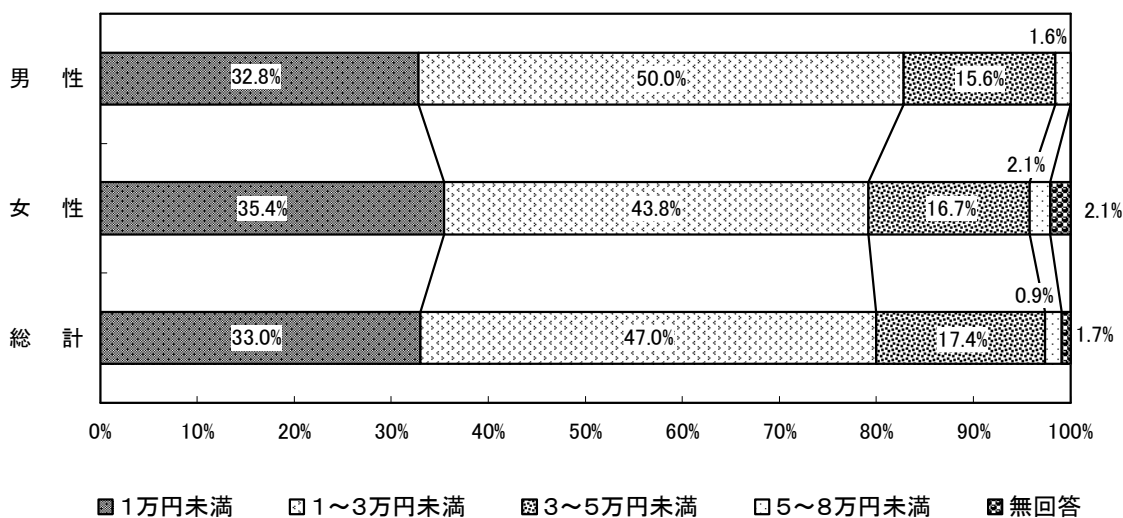
問 1 1 1 ヶ月の家賃

留学生が現在住んでいる住宅の1ヶ月の家賃は、「1～3万円」が最も多く、全体の47.0%を占めている。次に多いのが「1万円未満」の33.0%となっている。この傾向は、男女に差はあまり見られない。8万円以上の住宅に住んでいる学生は皆無であった。

表 2 - 6 1 ヶ月の家賃

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
1 万 円 未 満	21 32.8%	17 35.4%	38 33.0%
1 ～ 3 万 円 未 満	32 50.0%	21 43.8%	54 47.0%
3 ～ 5 万 円 未 満	10 15.6%	8 16.7%	20 17.4%
5 ～ 8 万 円 未 満	1 1.6%	1 2.1%	2 1.7%
8 ～ 10 万 円 未 満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10 ～ 15 万 円 未 満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
15 万 円 以 上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無 回 答	0 0.0%	1 2.1%	1 0.9%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図 2 - 6 1 ヶ月の家賃



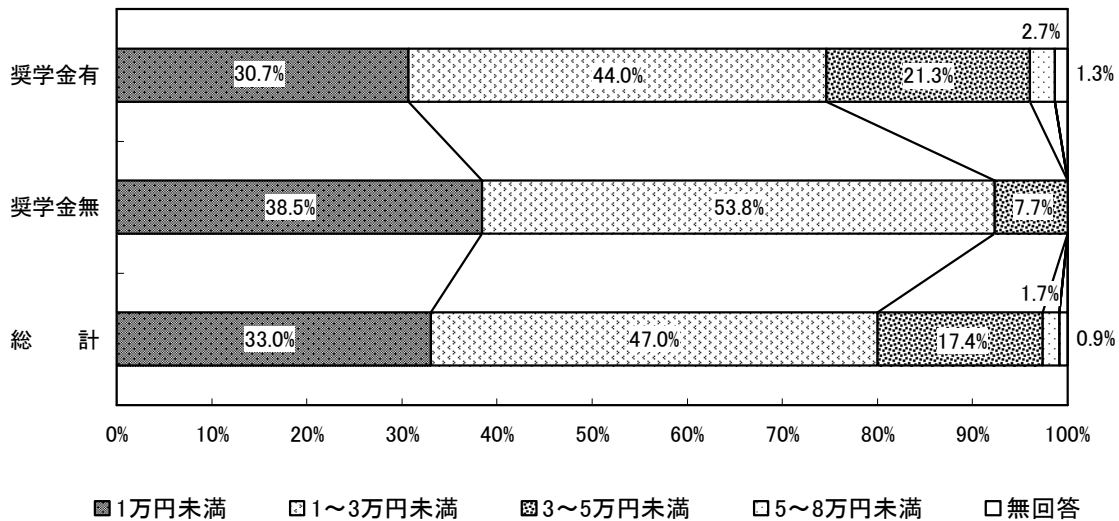
問 1 1 1ヶ月の家賃(奨学金有・無)

1ヶ月の家賃を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人は「1～3万円」が最も多く44.0%であった。奨学金をもらっていない人も同様に「1～3万円」が最も多く53.8%である。「1万円未満」の人も奨学金の有無を問わず3割以上いる。

表 2-6 1ヶ月の家賃(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
1万円未満	23 30.7%	15 38.5%	38 33.0%
1～3万円未満	33 44.0%	21 53.8%	54 47.0%
3～5万円未満	16 21.3%	3 7.7%	20 17.4%
5～8万円未満	2 2.7%	0 0.0%	2 1.7%
8～10万円未満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10～15万円未満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
15万円以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 1.3%	0 0.0%	1 0.9%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 2-6 1ヶ月の家賃(奨学金有・無)



問 1 2 住宅に対する不満（複数回答）

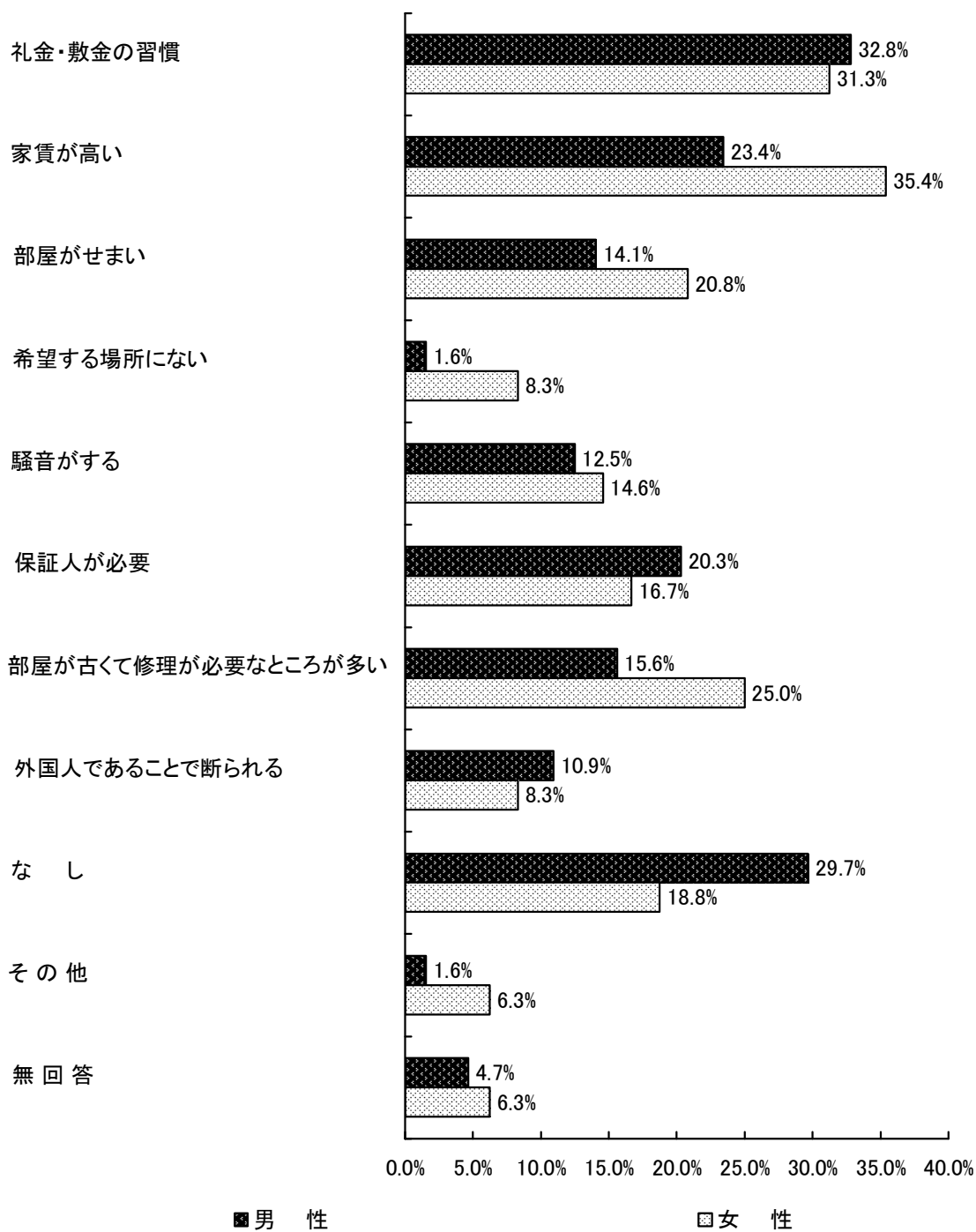
住宅に対する不満で最も多いのが「礼金・敷金の習慣がある」で、全体の 32.2% を占めた。次に多かったのが「家賃が高い」の 30.4% となっている。男性は、この傾向と同様であるが、女性は「家賃が高い」が 35.4% で最も多くなっている。

表 2 - 7 住宅に対する不満

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
礼金・敷金の習慣	21 32.8%	15 31.3%	37 32.2%
家賃が高い	15 23.4%	17 35.4%	35 30.4%
部屋がせまい	9 14.1%	10 20.8%	20 17.4%
希望する場所がない	1 1.6%	4 8.3%	5 4.3%
騒音がする	8 12.5%	7 14.6%	15 13.0%
保証人が必要	13 20.3%	8 16.7%	21 18.3%
部屋が古くて修理が必要なところが多い	10 15.6%	12 25.0%	22 19.1%
外国人であることで断られる	7 10.9%	4 8.3%	13 11.3%
なし	19 29.7%	9 18.8%	28 24.3%
その他	1 1.6%	3 6.3%	4 3.5%
無回答	3 4.7%	3 6.3%	6 5.2%
回答者数	64	48	115

(複数回答)

図 2 - 7 住宅に対する不満



問 1 2 住宅に対する不満（複数回答）（奨学金 有・無）

住宅に対する不満の具体的内容については、奨学金の有無を問わず「礼金・敷金の習慣がある」が最も多くなっている。また、2番目は両方とも「家賃が高い」となっている。

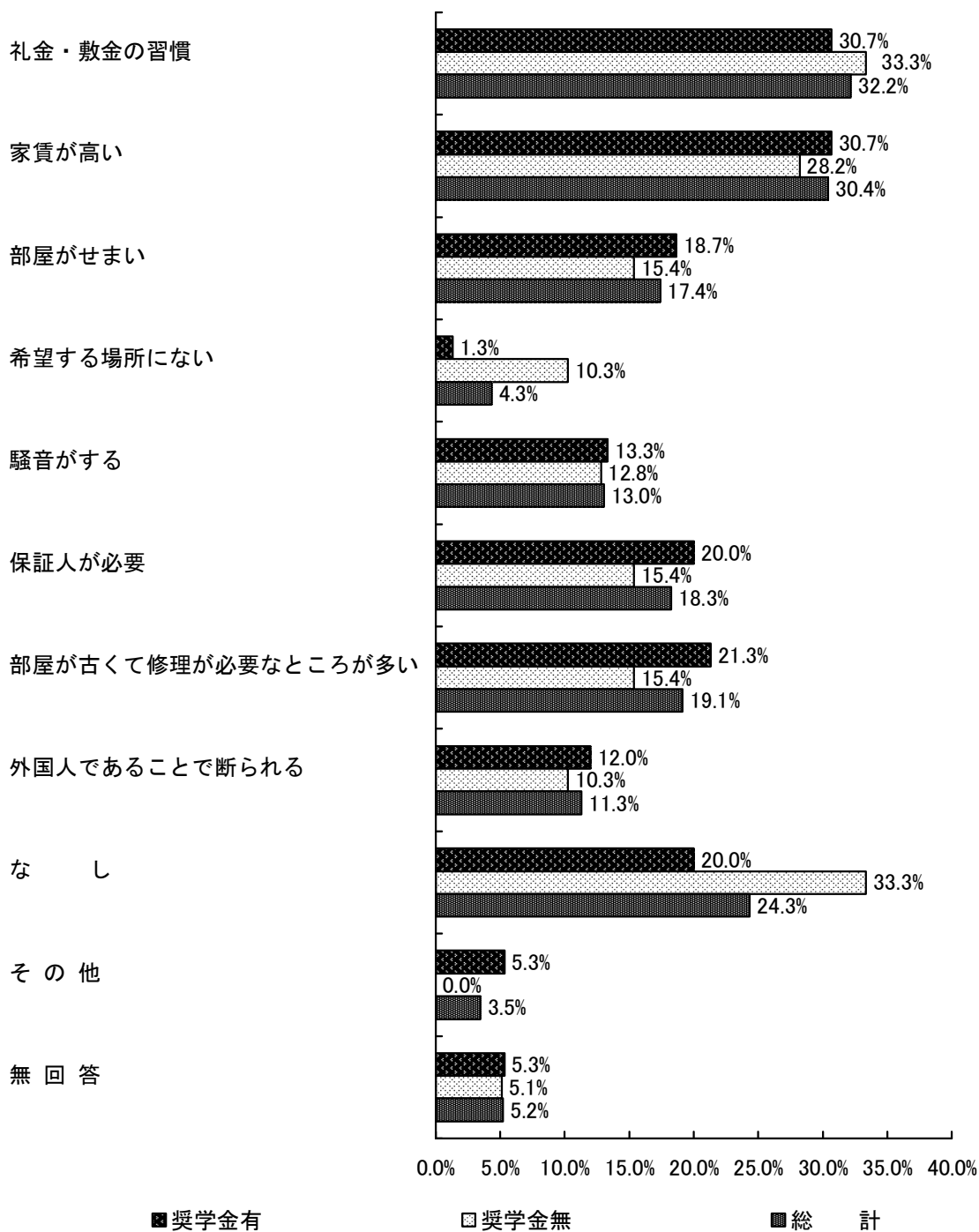
ただし住宅に対する不満「なし」という意見も総計で 24.3%あった。

表 2 - 7 住宅に対する不満（奨学金有・無）

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
礼金・敷金の習慣	23 30.7%	13 33.3%	37 32.2%
家賃が高い	23 30.7%	11 28.2%	35 30.4%
部屋がせまい	14 18.7%	6 15.4%	20 17.4%
希望する場所がない	1 1.3%	4 10.3%	5 4.3%
騒音がする	10 13.3%	5 12.8%	15 13.0%
保証人が必要	15 20.0%	6 15.4%	21 18.3%
部屋が古くて修理が必要なところが多い	16 21.3%	6 15.4%	22 19.1%
外国人であることで断られる	9 12.0%	4 10.3%	13 11.3%
なし	15 20.0%	13 33.3%	28 24.3%
その他	4 5.3%	0 0.0%	4 3.5%
無回答	4 5.3%	2 5.1%	6 5.2%
回答者数	75	39	115

(複数回答)

図 2 - 7 住宅に対する不満（奨学金有・無）



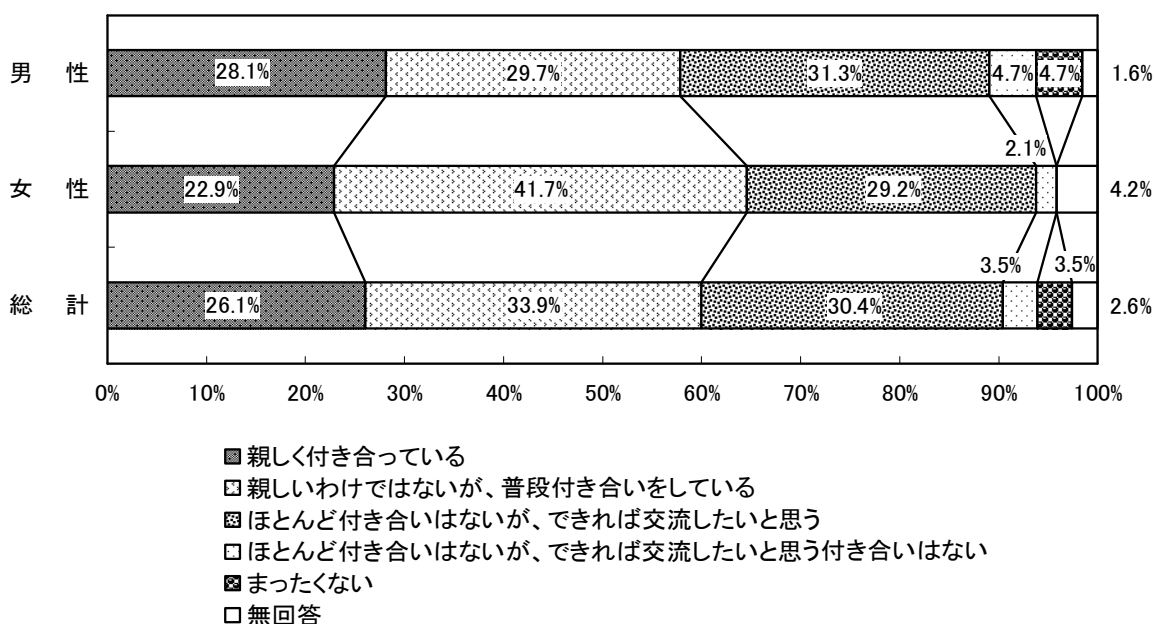
問 1 3 日本人との交流の機会

留学生が勉強や仕事以外での日本人との交流をどの程度しているかをみると、「親しいわけではないが、普段つきあいをしている」と答えた人が他よりもわずかに最も多く、33.9%となっている。次に多いのが「ほとんど付き合いはないが、できれば交流をしたいと思う」の30.4%、3番目に多いのが「親しく付き合っている」の26.1%となっている。女性は、この傾向と同様であるが、男性は「ほとんど付き合いはないができれば交流したいと思う」が31.3%で最も多くなっている。

表 2 - 8 日本人との交流の機会

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
親しく付き合っている	18 28.1%	11 22.9%	30 26.1%
親しいわけではないが、 普段付き合いをしている	19 29.7%	20 41.7%	39 33.9%
ほとんど付き合いはないが、 できれば交流したいと思う	20 31.3%	14 29.2%	35 30.4%
ほとんど付き合いはない	3 4.7%	1 2.1%	4 3.5%
ま っ た く な い	3 4.7%	0 0.0%	4 3.5%
無 回 答	1 1.6%	2 4.2%	3 2.6%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図 2 - 8 日本人との交流の機会



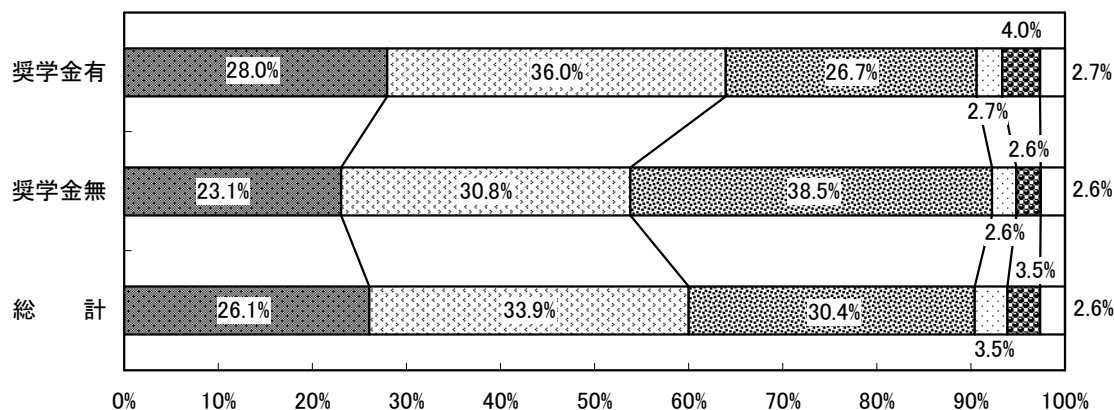
問 1 3 日本人との交流の機会(奨学金 有・無)

日本人との交流の機会を奨学金の有無別にみると、奨学金をもらっている人は「親しいわけではないが、普段付き合いをしている」が最も多く、36.0%となっているのに対し、奨学金をもらっていない人は、「ほとんど付き合いはないができれば交流をしたいと思う」が最も多くなっている。

表 2-8 日本人との交流の機会(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
親しく付き合っている	21 28.0%	9 23.1%	30 26.1%
親しいわけではないが、 普段付き合いをしている	27 36.0%	12 30.8%	39 33.9%
ほとんど付き合いはないが、 できれば交流したいと思う	20 26.7%	15 38.5%	35 30.4%
ほとんど付き合いはない	2 2.7%	1 2.6%	4 3.5%
まったくくない	3 4.0%	1 2.6%	4 3.5%
無回答	2 2.7%	1 2.6%	3 2.6%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 2-8 日本人との交流の機会(奨学金有・無)



- 親しく付き合っている
- 親しいわけではないが、普段付き合いをしている
- ▨ ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う
- ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う付き合いはない
- まったくない
- 無回答

3 国際交流に対する意識や意向についておたずねします。

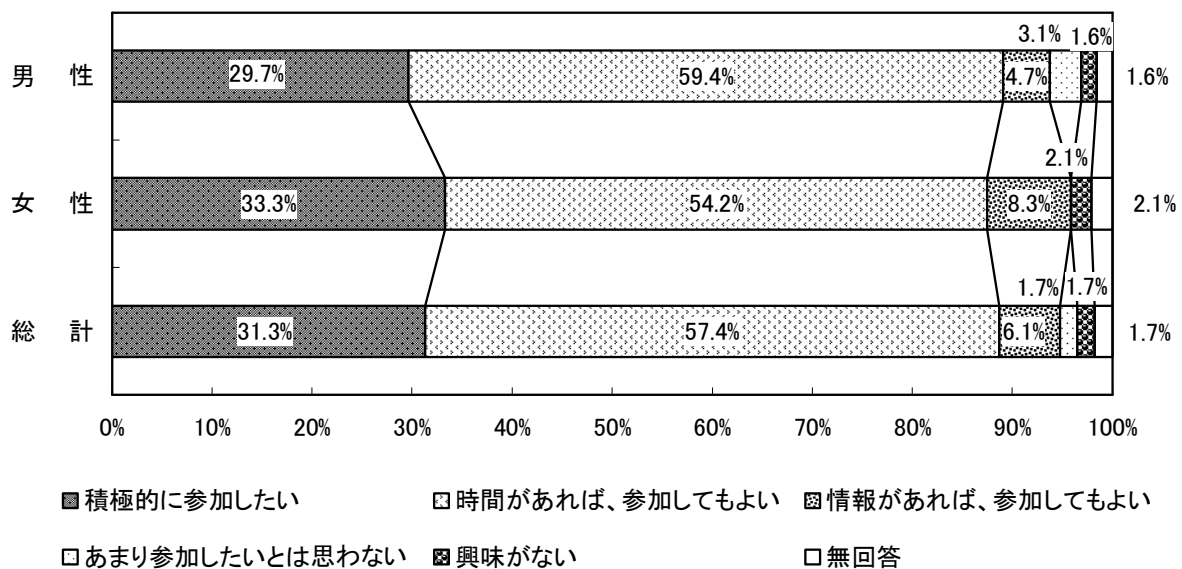
問 1 4 国際交流やボランティア活動への関心

留学生の国際交流やボランティア活動への関心度をみると、「時間があれば、参加してもよい」と答えた人が最も多く、57.4%と半数を上回っている。この傾向は男女とも同様である。

表 3 - 1 国際交流やボランティア活動への関心

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
積極的に参加したい	19 29.7%	16 33.3%	36 31.3%
時間があれば、参加してもよい	38 59.4%	26 54.2%	66 57.4%
情報があれば、参加してもよい	3 4.7%	4 8.3%	7 6.1%
あまり参加したいと思わない	2 3.1%	0 0.0%	2 1.7%
興味が無い	1 1.6%	1 2.1%	2 1.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無 回 答	1 1.6%	1 2.1%	2 1.7%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図 3 - 1 国際交流やボランティア活動への関心



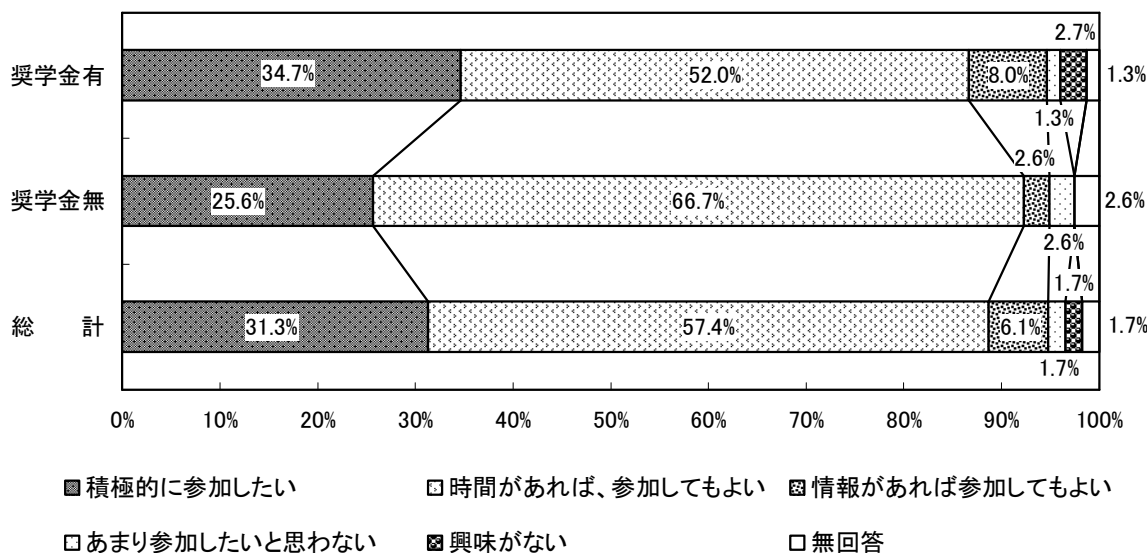
問 1 4 国際交流やボランティア活動への関心(奨学金 有・無)

国際交流やボランティア活動への関心度については、奨学金の有無を問わず、「時間があれば、参加してもよい」が最も多くなっており、半数以上を占めている。また、「積極的に参加したい」と答えた学生は、奨学金をもらっている人が34.7%、もらっていない人が25.6%となっている。

表 3-1 国際交流やボランティア活動への関心(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
積極的に参加したい	26 34.7%	10 25.6%	36 31.3%
時間があれば、参加してもよい	39 52.0%	26 66.7%	66 57.4%
情報があれば、参加してもよい	6 8.0%	1 2.6%	7 6.1%
あまり参加したいと思わない	1 1.3%	1 2.6%	2 1.7%
興味がない	2 2.7%	0 0.0%	2 1.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 1.3%	1 2.6%	2 1.7%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 3-1 国際交流やボランティア活動への関心(奨学金有・無)



問 1 5 ほしい情報について（複数回答）

留学生のほしい情報について、男性は「奨学金や助成金に関する情報」が最も多く、54.7%となっており、次に多いのが「仕事、アルバイトの情報」の 42.2%、3番目が「国際交流やイベントに関する情報」の 32.8%となっている。

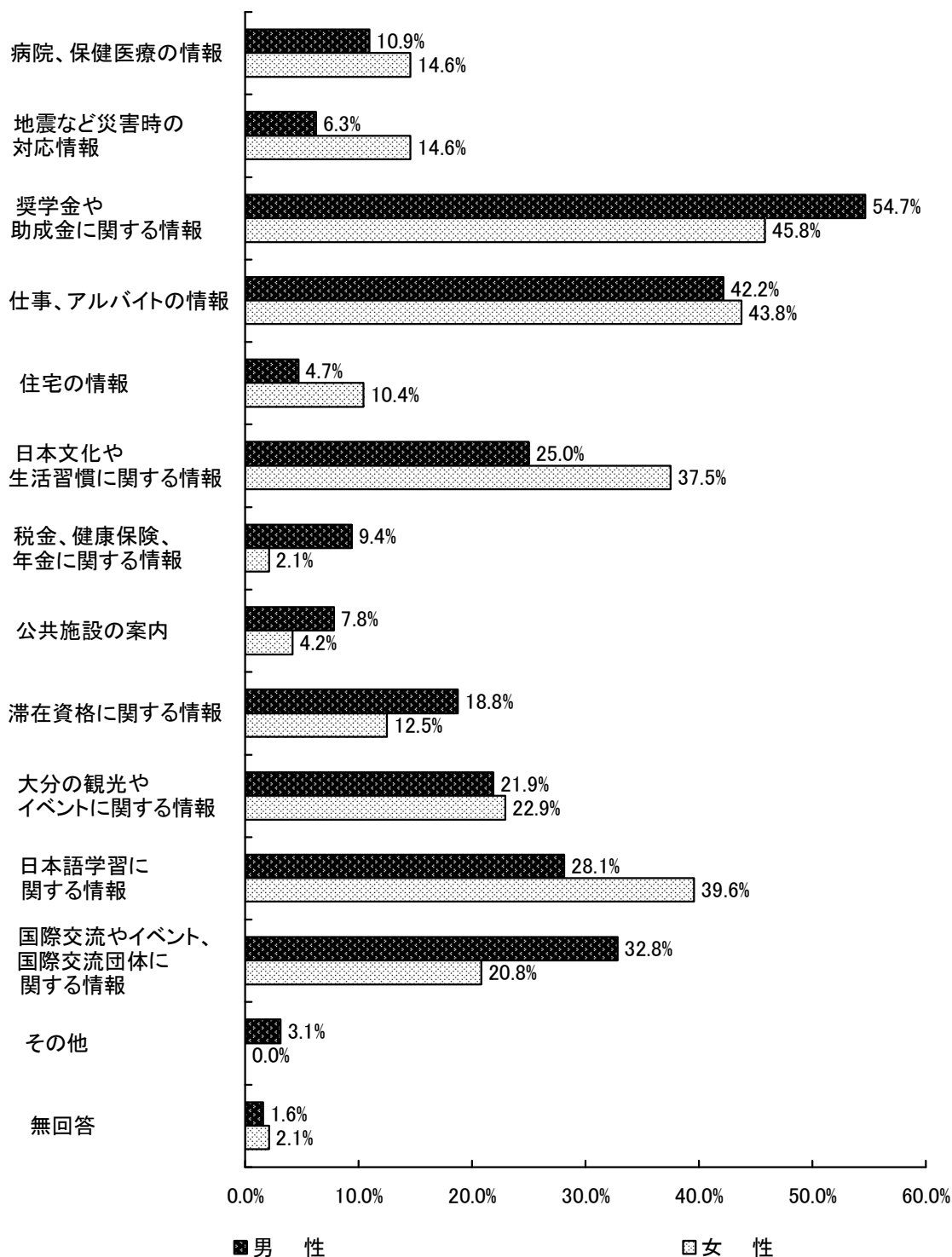
女性は、最も多いのが奨学金や助成金に関する情報の 45.8%、2番目が「仕事、アルバイトの情報」の 43.8%、3番目が「日本語学習に関する情報」の 39.6%となっている。

表 3 - 2 ほしい情報について

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
病院、保健医療の情報	7 10.9%	7 14.6%	16 13.9%
地震など災害時の対応情報	4 6.3%	7 14.6%	11 9.6%
奨学金・助成金に関する情報	35 54.7%	22 45.8%	59 51.3%
仕事、アルバイトの情報	27 42.2%	21 43.8%	48 41.7%
住 宅 の 情 報	3 4.7%	5 10.4%	8 7.0%
日本文化や生活習慣に関する情報	16 25.0%	18 37.5%	35 30.4%
税金、健康保険、年金に関する情報	6 9.4%	1 2.1%	7 6.1%
公共施設の案内	5 7.8%	2 4.2%	8 7.0%
滞在資格に関する情報	12 18.8%	6 12.5%	20 17.4%
大分の観光やイベントに関する情報	14 21.9%	11 22.9%	25 21.7%
日本語学習に関する情報	18 28.1%	19 39.6%	37 32.2%
国際交流やイベント、国際交流団体に関する情報	21 32.8%	10 20.8%	32 27.8%
そ の 他	2 3.1%	0 0.0%	3 2.6%
無 回 答	1 1.6%	1 2.1%	2 1.7%
回 答 者 数	64	48	115

(複数回答)

図 3 - 2 ほしい情報について



問 1 5 ほしい情報について（複数回答）（奨学金 有・無）

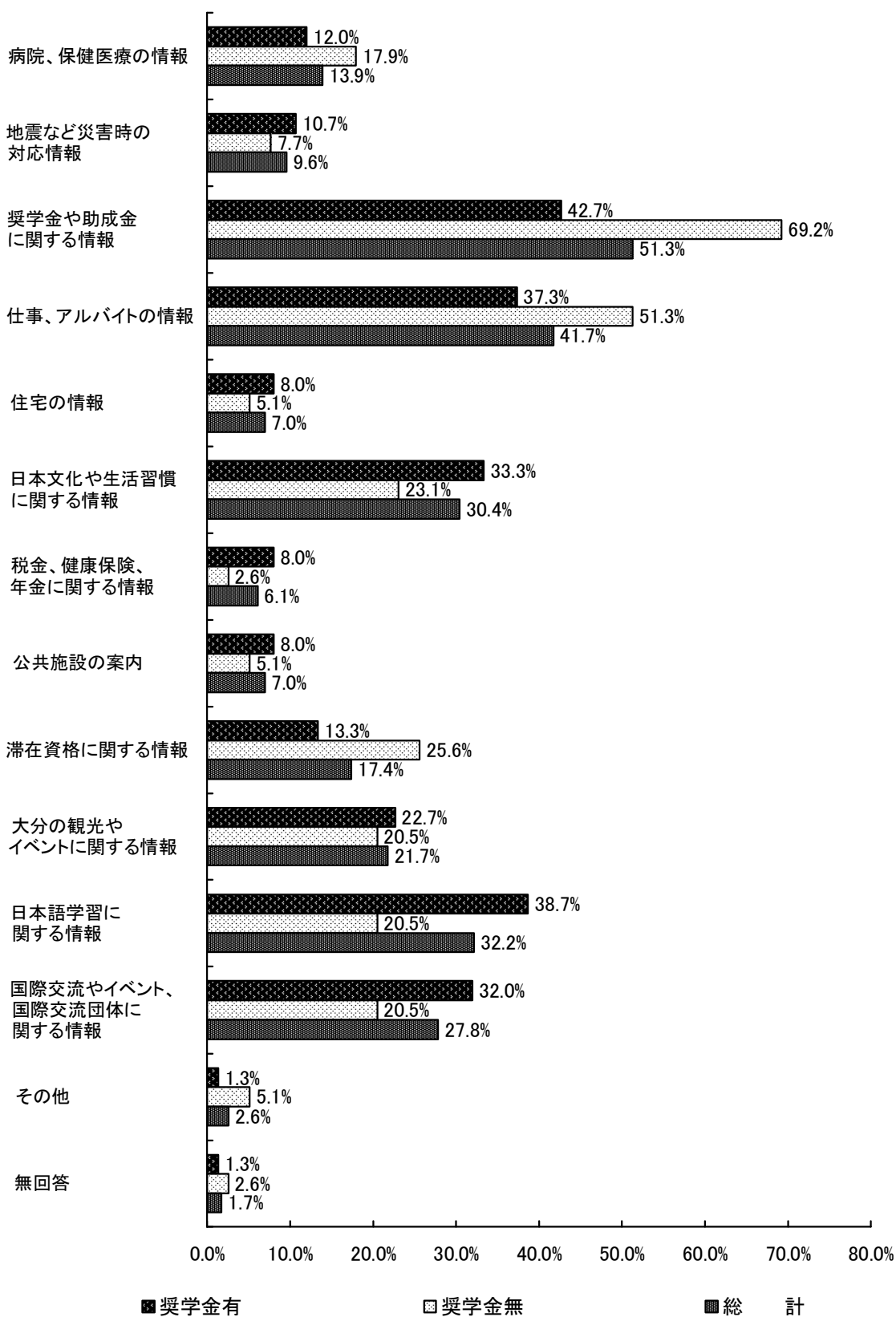
留学生の「ほしい情報」について、奨学金の有無別にみると、奨学金の有無を問わず「奨学金・助成金に関する情報」が最も多くなっている。特に奨学金をもらっていない人は約7割の人が欲しい情報としてあげている。2番目に多かったのは、奨学金をもらっている人の場合は「日本語学習に関する情報」(38.7%)、奨学金をもらっていない人の場合は「仕事、アルバイトの情報」(51.3%)となっている。

表 3-2 ほしい情報について(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
病院、保健医療の情報	9 12.0%	7 17.9%	16 13.9%
地震など災害時の対応情報	8 10.7%	3 7.7%	11 9.6%
奨学金・助成金に関する情報	32 42.7%	27 69.2%	59 51.3%
仕事、アルバイトの情報	28 37.3%	20 51.3%	48 41.7%
住宅の情報	6 8.0%	2 5.1%	8 7.0%
日本文化や生活習慣に関する情報	25 33.3%	9 23.1%	35 30.4%
税金、健康保険、年金に関する情報	6 8.0%	1 2.6%	7 6.1%
公共施設の案内	6 8.0%	2 5.1%	8 7.0%
滞在資格に関する情報	10 13.3%	10 25.6%	20 17.4%
大分の観光やイベントに関する情報	17 22.7%	8 20.5%	25 21.7%
日本語学習に関する情報	29 38.7%	8 20.5%	37 32.2%
国際交流やイベント、国際交流団体に関する情報	24 32.0%	8 20.5%	32 27.8%
その他	1 1.3%	2 5.1%	3 2.6%
無回答	1 1.3%	1 2.6%	2 1.7%
回答者数	75	39	115

(複数回答)

図 3-2 ほしい情報について(奨学金有・無)



問 1 6 大分のよいところ（複数回答）

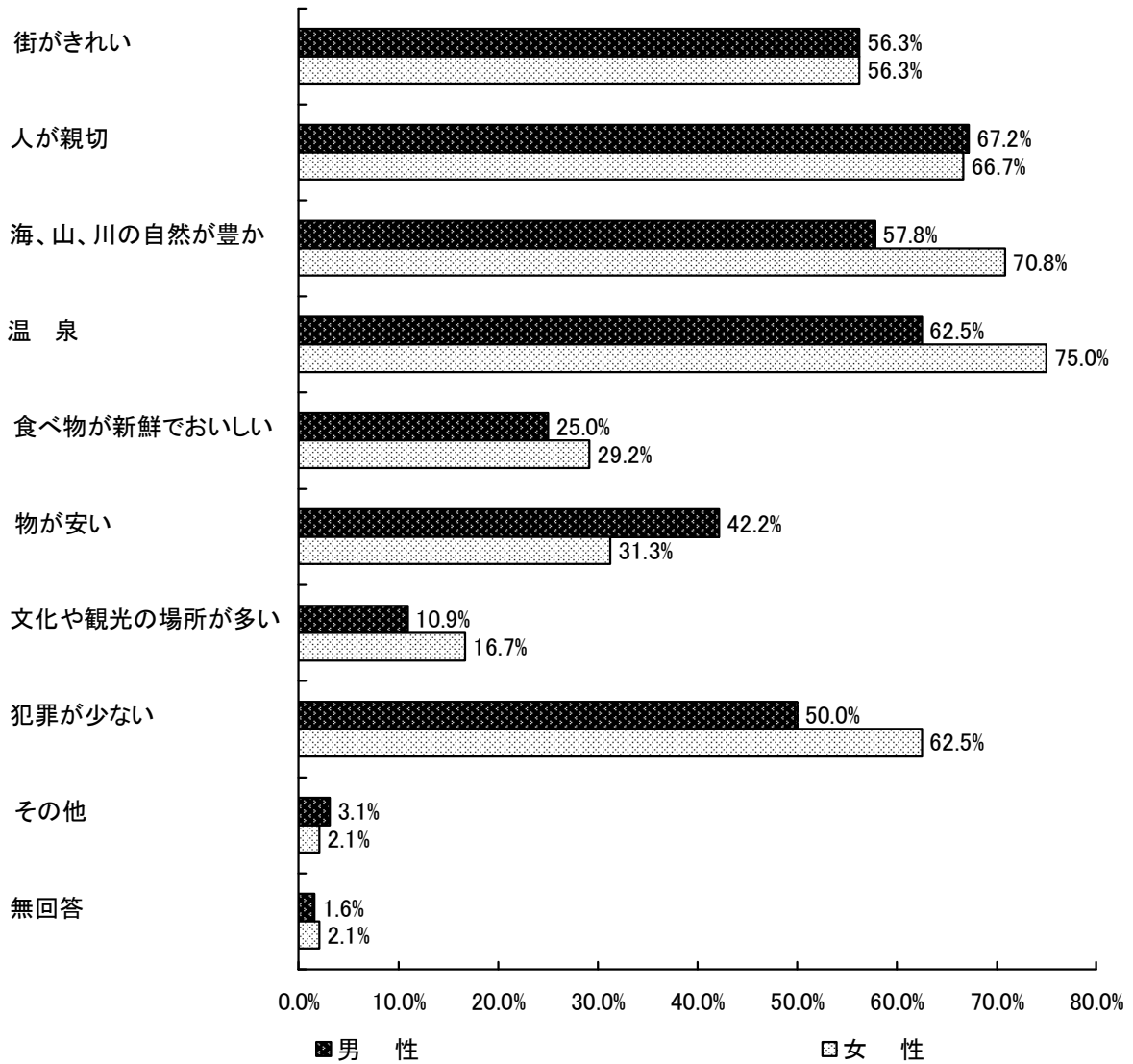
留学生に大分のよいところを聞いてみたところ、「温泉」が最も多く67.8%で、次に多いのが「人が親切」の66.1%、3番目が「海、山、川の自然が豊か」の62.6%となっている。

表 3 - 3 大分のよいところ

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
街 が き れ い	36 56.3%	27 56.3%	63 54.8%
人 が 親 切	43 67.2%	32 66.7%	76 66.1%
海、山、川の自然が豊か	37 57.8%	34 70.8%	72 62.6%
温 泉	40 62.5%	36 75.0%	78 67.8%
食べ物が新鮮でおいしい	16 25.0%	14 29.2%	30 26.1%
物 が 安 い	27 42.2%	15 31.3%	42 36.5%
文化や観光の場所が多い	7 10.9%	8 16.7%	15 13.0%
犯 罪 が 少 な い	32 50.0%	30 62.5%	62 53.9%
そ の 他	2 3.1%	1 2.1%	4 3.5%
無 回 答	1 1.6%	1 2.1%	2 1.7%
回 答 者 数	64	48	115

（複数回答）

図 3 - 3 大分のよいところ



問16 大分のよいところ（複数回答）（奨学金有・無）

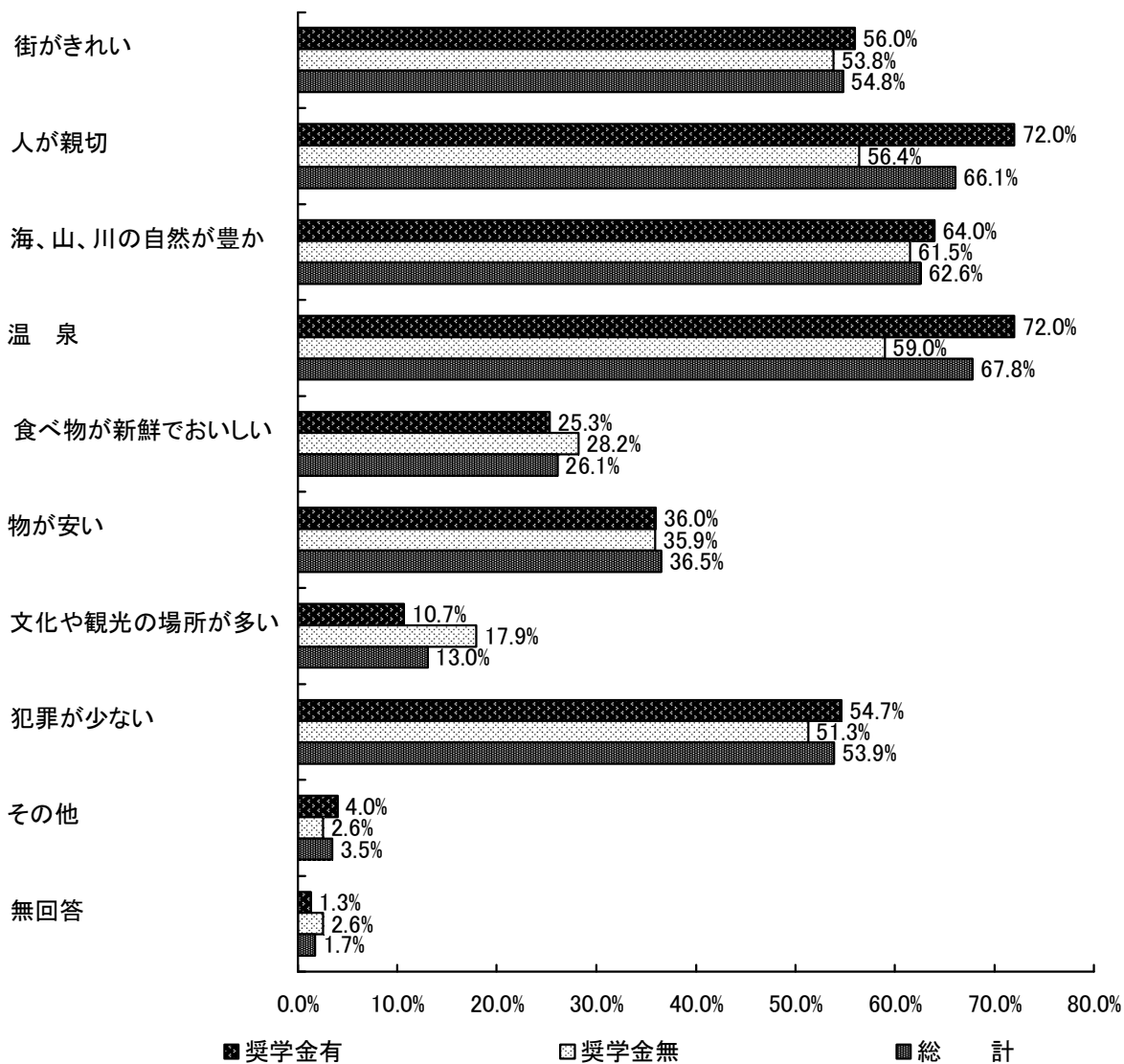
留学生のみ「大分のよいところ」については、奨学金をもらっている人の場合、最も多かったのは「温泉」および「人が親切」の72.0%であった。奨学金をもらっていない人について最も多かったのは「海、山、川の自然が豊か」の61.5%で、2番目に多かったのは「温泉」(59.0%)となっている。

表3-3 大分のよいところ(奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
街がきれい	42 56.0%	21 53.8%	63 54.8%
人が親切	54 72.0%	22 56.4%	76 66.1%
海、山、川の自然が豊か	48 64.0%	24 61.5%	72 62.6%
温泉	54 72.0%	23 59.0%	78 67.8%
食べ物が新鮮でおいしい	19 25.3%	11 28.2%	30 26.1%
物が安い	27 36.0%	14 35.9%	42 36.5%
文化や観光の場所が多い	8 10.7%	7 17.9%	15 13.0%
犯罪が少ない	41 54.7%	20 51.3%	62 53.9%
その他	3 4.0%	1 2.6%	4 3.5%
無回答	1 1.3%	1 2.6%	2 1.7%
回答者数	75	39	115

(複数回答)

図 3-3 大分のよいところ(奨学金有・無)



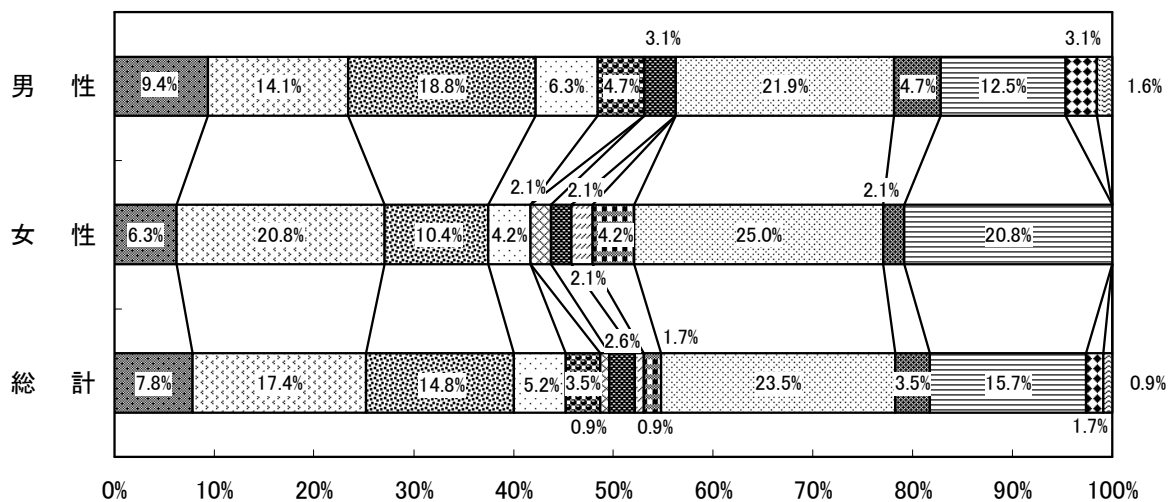
問 17 卒業後の希望進路

留学生が希望する卒業後の進路は、「母国で就職したい」と考えている人が最も多く、全体の 23.5%を占める。次に多いのが「大分以外の日本で引き続き勉強したい」の 17.4%、3番目に多いのが「決めていない」の 15.7%となっている。

表 3-4 卒業後の希望進路

	男 性	女 性	総 計 (性別 無回答3を含む)
大分で引き続き勉強したい	6 9.4%	3 6.3%	9 7.8%
大分以外の日本で引き続き勉強したい	9 14.1%	10 20.8%	20 17.4%
大分で就職したい	12 18.8%	5 10.4%	17 14.8%
大分以外の日本で就職したい	4 6.3%	2 4.2%	6 5.2%
大分でビジネスをはじめたい	3 4.7%	0 0.0%	4 3.5%
大分以外の日本でビジネスをはじめたい	0 0.0%	1 2.1%	1 0.9%
ほかの国で勉強したい	2 3.1%	1 2.1%	3 2.6%
ほかの国で就職したい	0 0.0%	1 2.1%	1 0.9%
ほかの国でビジネスをはじめたい	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
母国で勉強したい	0 0.0%	2 4.2%	2 1.7%
母国で就職したい	14 21.9%	12 25.0%	27 23.5%
母国でビジネスをはじめたい	3 4.7%	1 2.1%	4 3.5%
決めていない	8 12.5%	10 20.8%	18 15.7%
その他	2 3.1%	0 0.0%	2 1.7%
無回答	1 1.6%	0 0.0%	1 0.9%
総 計	64 100.0%	48 100.0%	115 100.0%

図 3 - 4 卒業後の希望進路



- 大分で引き続き勉強したい
- 大分以外の日本で就職したい
- ほかの国で勉強したい
- 母国で就職したい
- その他
- 大分以外の日本で引き続き勉強したい
- 大分でビジネスをはじめたい
- ほかの国で就職したい
- 母国でビジネスをはじめたい
- 無回答
- 大分で就職したい
- 大分以外の日本でビジネスをはじめたい
- 母国で勉強したい
- 目決めていない

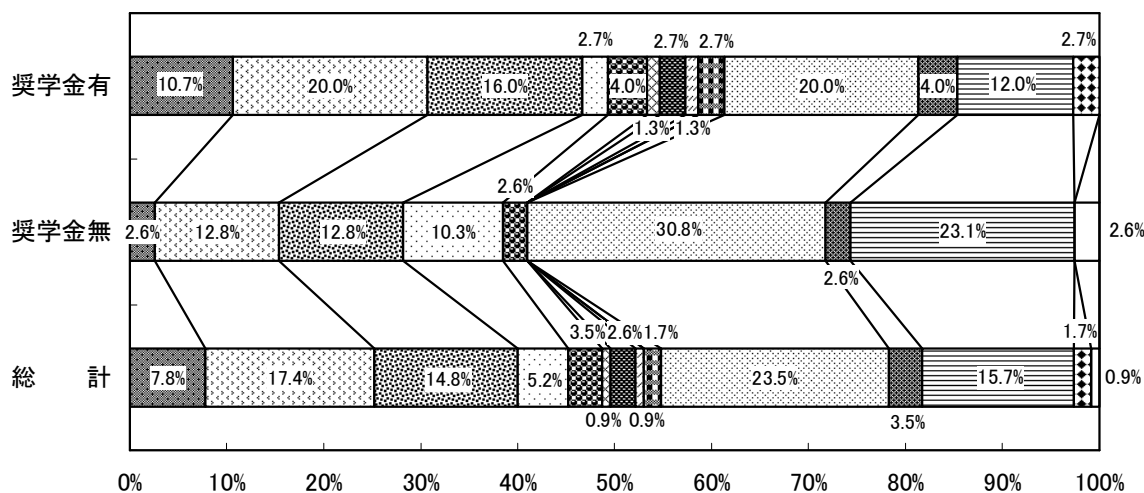
問 1 7 卒業後の希望進路(奨学金 有・無)

卒業後の進路については、奨学金の有無を問わず「母国で就職したい」が最も多くなっている。また、何らかの形で大分へ残ることを希望している留学生は、奨学金をもらっている人が 30.7%、奨学金をもらっていない人が 18%となっており、奨学金をもらっている人のほうが大分に残る人が多くなっている。

表 3 - 4 卒業後の希望進路 (奨学金有・無)

	奨学金有	奨学金無	総計 (奨学金無回答1を含む)
大分で引き続き勉強したい	8 10.7%	1 2.6%	9 7.8%
大分以外の日本で引き続き勉強したい	15 20.0%	5 12.8%	20 17.4%
大分で就職したい	12 16.0%	5 12.8%	17 14.8%
大分以外の日本で就職したい	2 2.7%	4 10.3%	6 5.2%
大分でビジネスをはじめたい	3 4.0%	1 2.6%	4 3.5%
大分以外の日本でビジネスをはじめたい	1 1.3%	0 0.0%	1 0.9%
ほかの国で勉強したい	2 2.7%	0 0.0%	3 2.6%
ほかの国で就職したい	1 1.3%	0 0.0%	1 0.9%
ほかの国でビジネスをはじめたい	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
母国で勉強したい	2 2.7%	0 0.0%	2 1.7%
母国で就職したい	15 20.0%	12 30.8%	27 23.5%
母国でビジネスをはじめたい	3 4.0%	1 2.6%	4 3.5%
決めていない	9 12.0%	9 23.1%	18 15.7%
その他	2 2.7%	0 0.0%	2 1.7%
無回答	0 0.0%	1 2.6%	1 0.9%
総計	75 100.0%	39 100.0%	115 100.0%

図 3-4 卒業後の希望進路(奨学金有・無)



- 大分で引き続き勉強したい
- 大分以外の日本で引き続き勉強したい
- ほかの国で勉強したい
- 母国で勉強したい
- その他
- 大分で就職したい
- 大分以外の日本で就職したい
- 母国で就職したい
- 母国でビジネスをはじめたい
- 大分以外の日本でビジネスをはじめたい
- 母国でビジネスをはじめたい
- 目決めていない
- 無回答

**大分市国際化推進計画策定に係る
市 民 意 識 調 査**

留学生アンケート

その他・自由意見

問3 留学生の種類

- ・ 交換留学生
- ・ 短期交換留学生
- ・ University student under own expenses
- ・ 短期交流学生
- ・ 交換留学生

問4 専攻

- ・ oversea exchange student
- ・ medical
- ・ Mechanical Pensch'
- ・ 医学系
- ・ コンピューターネットワーク
- ・ 医学
- ・ BioLoGy
- ・ 経営学

問10 どのような住宅に住んでいるか

- ・ 外国人研究員宿泊施設
- ・ 不動産屋

問12 住居への不満

- ・ 汚い、ゴミブリがいる
- ・ 断熱材が使われていないので寒い、暑い
- ・ 下水とその臭い
- ・ 電気料金が高い

問14 国際交流やボランティア活動の参加に関心があるか

- ・ 記入なし

問15 現在、最もほしいと思う情報

- ・ 自分の子供をみてくれる住み込みのメイドがほしい
- ・ 日本の運転免許制度の情報

問16 大分のよいところ

- ・ 私の故郷と大変よく似ている
- ・ 現代ハイスピードの日本にシンプル、素朴な大分
- ・ 日常生活便利
- ・ 安全なところ

問17 卒業後の進路

- ・ 日本で博士課程を進め続けたいけど物価が高いので悩んでいる
- ・ 日本で就職したい（どこでも構わない）

